



# そしん

第56号



発行/社会福祉法人 素心会  
責任者/事務局長 高瀬 尚人  
〒259-0103  
神奈川県中郡大磯町虫窪 39 番地 1  
TEL.0463-71-1255  
レイアウト・印刷 貴峯荘ワークピア

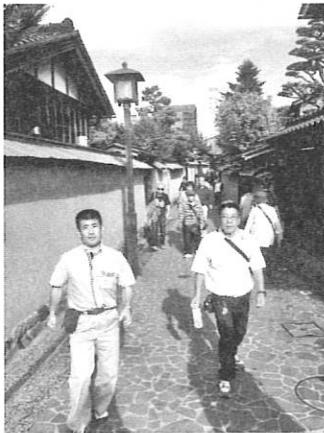


今年度、グループホームの利用者の中で就労されている方の旅行のテーマは、皆さんと相談した結果「北陸新幹線に乗って金沢市内観光をしよう、そして温泉でのんびりして大きな海鮮丼を食べてビールを飲もう」に決定しました。

1日目北陸新幹線に乗って金沢へ。到着後市内観光（兼六園、近江町市場で大きな海鮮丼など）と宿泊。2日目は和倉温泉でのんびり。3日目はお土産を買って北陸新幹線で大磯へ戻る。そんな内容で2泊3日の旅行に出かけてきました。

1日目は早朝から震度4の地震が発生。電車の遅れなど少し嫌な予感でしたがが全員無事に金沢へ到着。念願の北陸新幹線に乗車し、観光も楽しめたようです。近江町市場では大きな海鮮丼とビール。よく歩いたので美味しく、大満足の初日でした。

二日目の移動中です。



金沢武家屋敷街



2日目はあいにくの雨、予定を変更して早めに和倉温泉へ。温泉に着くと幸い雨もやみ、温泉街を散策していると「懐かし昭和館」という施設を発見。ピンクレディーやキャンデーズのレコードやラジカセと再会し、本日一番の盛り上がり。温泉もたっぷり楽しみました。



何を食べようかな？

3日目は金沢駅でお土産と駅弁を買って北陸新幹線に乗車。全員無事に大磯へ戻ることができました。

今年度の旅行を振り返ると、話題の北陸新幹線や金沢方面の観光等を楽しんでいただくことが目的でしたが、何よりも、おしゃべりをしたり、一緒にお風呂に入ったりビールを飲んだり、そしてまたふざけたり、そんな旅行を皆さん望んでいるのだなと感じました。



JR 金沢駅にて

旅行をはじめ楽しい行事が少しでも励みとなり、仕事で忙しい毎日を皆が乗り越えられるように願っています。

地域支援センターそしん 地域生活課 課長 高山和宏

これから入笠山ゴンドラに乗ります (就労継続支援B型)



京急油壺マリンパークへ行きました (生活介護)



### 素心デイセンターの旅行

昨年の一泊旅行では、新しい試みとして、就労継続支援B型と生活介護の2グループに分けて実施しました。

B型の旅行では、旅行プランの立案から利用者の皆さんが参加しました。一人ひとりに行きたい場所の聞き取りから行い、それを基に旅行会社と調整し、最終的に二つの目的地の中から利用者を選択していただくことになりました。日帰りのデイズニールランドか、一泊で長野県諏訪地方にある入笠山ゴンドラと工場見学か、話し合いの結果、入笠山ゴンドラと工場見学を組み込んだ一泊旅行になりました。旅程も皆さんと一緒に検討し、二か所の工場見学と入笠山散策を予定するなど複数の見学先を設け、皆さんの希望に沿って計画しました。旅行当日、予定どおり皆さん主体的に行動され、満足度の高い旅行が実現できたのではないかと感じています。

一方、生活介護の旅行では、目的地を二か所としました。昨年度までは複数の見学場所が旅程に入っており、慌ただしくなる場面が見られたためです。初日は宿泊、二日目に見学というゆとりのある旅程です。皆さんの年齢や体力、そして、趣味や嗜好も踏まえ、京急油壺マリンパークと三浦半島で海の幸を満喫するコース、群馬県にある敷塚温泉と埼玉県にある東武動物公園を見学するコース、山梨県の石和温泉と昇仙峡で紅葉を楽しむコース、そして、秩父の温泉とさいたま市にある鉄道博物館の4コースを用意しました。この中から、ご本人、あるいはご家族の方にどのコースの旅行に参加するか選択していただきました。昨年度までと比べて利用者の皆さんのペースに合った旅行が実現できたのではないかと思います。

最後に、私は、数回旅行企画委員を経験させていただきましたが、今年度は新たな試みとして、利用者の皆さんの声をより反映させた旅行を企画することができたのではないかと感じています。次年度以降も、更に利用者の皆さんの希望に沿った旅行を企画できるようにしたいと思います。

(素心デイセンター 生活一班 梶山政明)

宴会ではカラオケも盛り上がりました (生活介護)



昼食を楽しみました (就労継続支援B型)



### 素心学院の旅行



花園フォレストにて

素心学院の旅行の一つを紹介いたします。10月8日から9日に埼玉県方面へ行ってきました。

1日目は午後から出発し深谷市にある花園フォレストへ。花園フォレストはヨーロッパの住宅街をモチーフにしたテーマパークです。利用者の皆さんは、敷地内を見学したりお菓子やパンなどを買われて満足された様子でした。

花園フォレストからホテルに到着。夜の宴会は、大変に楽しくにぎやかなものになりましたが、普段は物静かな方がカラオケを楽しんでいたたり、また、皆さんの好きな歌を知ることができたりと新鮮な発見もありました。

2日目は日高市のサイボクハムへ行ってきました。レストランはとても混んでいましたが、みなさん昼食をおいしそうに召し上がっていました。

旅行も終盤となり、行きは賑やかだった車内も帰りはみなさん疲れているのかとても静かでした。

利用者の方にとっては年に1回の旅行です。今回の旅行も素敵な思い出になってくれたらと思います。

(素心学院 支援一課 一楽貴久)



サイボクハムにて昼食を楽しみました

宴会も満喫しました



# 家族ペンリレー

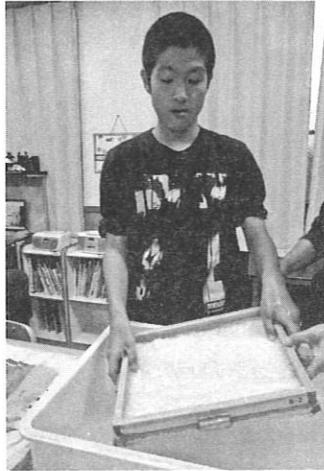
地域支援センターそしん

母 蒲谷 祐子  
かぼや 楓



7年前、大磯に引越してきたときからそしんにはずっとお世話になっています。当時まだ6歳で、重度の知的障害のある楓が地域になじめ

るのか、居場所はあるのか不安でいっぱいでしたが、そしんから「何でもご相談ください」というお手紙をいただき、とても温かい気持ちになり私の支えとなりました。そんな小さかった楓も現在は湘南養護学校の中学一年生。かなりのイケメン君になりました。そしんの放課後等デイサービスは週3回利用していますが、スタッフの方たちにあたたかく見守られながらお友達との関係を学んだり、お手伝いを覚えたり、学校とも家庭とも違う大切な時間を過ごしています。お気に入りのソファがあるそうで、そこでのんびりリラックスタイムを楽しんでいることが多いようです。これから思春期を迎えたり、高校、そして卒業後の進路など楓にとっても変化の多い時期が続きますが、今後ともよろしくお願ひいたします。



## 素心学院花だより

「素心」の名は東洋らんのシユンランの一種で純白の花「素心らん」からとったものです。素心学院には、それぞれ蘭の花にちなんだ「素宝」「玉翠」「聖雪」「初音」「白嶺」という名前の5つの寮があります。今回から、素心学院で長年生活されている方を各寮からご紹介させていただきます。「素心学院花だより」というコーナーを始めました。今回は初音寮の柳田菊江さんと素宝寮の小澤芳夫さんをご紹介します。

### 初音寮から、柳田菊江さんについて

初音寮ではピーコという名前のカナリヤを飼っています。柳田さんは毎日ピーコのかこの中を掃除してレタスや餌をあげています。10年以上飼っているのが羽根がよれよれで両手を広げたような形になってしまっていますが、掃除が終わる柳田さんが「ピーコ！」と呼びかけるとピーコが柳田さんの方を見つめているようです。少し前に柳田さんが入院しました。そのときは、支援員が世話をしたのですが、元気がなくあまり鳴かなくなっていました。動物は敏感で愛情を注いでいる人がわかるのだと思いました。柳田さんは、いつも笑顔で誰にでも元氣よく挨拶をし、皆から好かれる存在です。ちよっぴりお茶目で頑張り屋さんで、時々我慢しすぎておへそが曲がってしまうけど、皆さんから「お母さん」のように慕われています。今年で79歳になりますが、これからは色々なこと我慢しないでたくさん甘えて欲しいと思っています。

### 素宝寮から、小澤芳夫さんについて

大の野球好きで熱狂的な巨人ファンといえは、この方、小澤芳夫さんです。毎年、東京ドームにナイター観戦に出かけていますが、ある年、優勝に立ち合えることができた強運の持ち主でもあります。もちろんプロ野球のシーズン中はテレビ中継を欠かさず見えています。土曜日はビールを片手に白熱する試合を見守りますが、アルコールも入り、小澤さん自身も顔が紅潮してきます。ホームランがでると「打ったー!!」「入ったー!!」と歓声を上げ、巨人が試合に勝つと「勝った!!!」とテレビの前でばんざいをして満面の笑顔です。

その小澤さんも今年で78歳を迎えます。私たちはこれからも小澤さんと一緒に喜びを分かち合い、健康で暮らせるように支援していきたいと思っています。来年はビールかけができると良いですね…。

(素心学院 支援一課 西垣宏和)



カラオケも好きです



これから旅行に出発します!

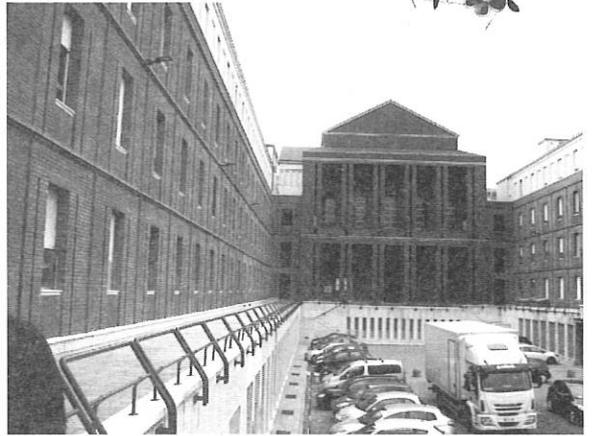


旅行も楽しみです



ベランダの花壇にて

# 海外視察研修に参加して



イタリアの大型入所型施設の正門の光景



平成27年9月26日から10月2日までの7日間、福利厚生センター・ソウエルクラブ主催の障害福祉コースで海外視察研修メンバーの一員としてイタリア、デンマークへ視察に行かせていただきました。

1か国目のイタリア入国。中世から続く石の建物、石畳の道路は見事で空港からミラノ市内へ向かう車内から歴史ある景観を存分に感じることができました。障害者施設を見学した際に印象的だったことは、障害者種別、人種を問わずその生活とサービスを保障する体制があることです。イタリアは移民の方が多く、お客様（イタリアでは利用者というより「お客様」という感覚

デンマークの施設訪問にて



です)には中国、そしてモロッコをはじめ、アフリカ出身の方も在籍されていて驚きました。また、都市部(北部と地方部(南部))との福祉サービスの地域格差もあるようで、社会資源の整備とサービスの質の二元的な確保という課題は日本と共通しているように感じました。

2か国目のデンマーク入国。郊外の町並みは養豚業が盛んであることも影響してか、非常に穏やかで落ち着いた景観が続いていました。CFD(聴覚障害者援助団体・機関)の施設を見学しましたが、まず印象的だったことは、ハード面の充実とソフト面での配慮です。

広大な敷地内に平屋建ての棟が建ち、各棟に住所があり、一棟に10人前後が入居しています。一居室あたり32㎡程の面積が確保されているため余裕があり、ハイセンスな家具と個人の趣向を凝らした装飾から生活に潤いを感じられました。また、ソフト面においては、利用者に対して職員の配置が手厚く、イタリア同様に障害者種別関係無く受入れが進んでおり、人種や性別なども含め、多様性を尊重する文化が背景にあるのだと感じました。

デンマークの施設ではインフォメーションボードにアイパッドを活用していました。



デンマークの施設のロビー



イタリアの入所施設の居室



今回の研修では、2か国の障害福祉施設を視察しましたが、福祉の分野に限らず知識を深めるためには、その国の歴史、宗教、文化、経済情勢等を理解することが非常に大切だと実感しました。しかし、我が国と今回訪問した国々の障害者福祉施策、及び施設職員の利用者に対する支援の姿勢を比べると、決して遅れていたり、劣っていたりしていないと感じることもありました。

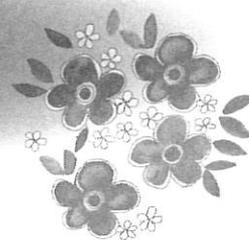
最後に、「利用者が望むものに制限はない。制限させているのは周りの職員だ」というデンマークの職員の言葉が印象に残りました。私は利用者に対しての本質的な考えかたを再確認しました。この視察研修で得た貴重な経験を活かして、今後も福祉従事者として切磋琢磨していきたいと思えます。

(素心会 法人事務局)

瀬戸 洋平



# ペッパー君が やってきた!!



「ペッパー君」は、人間の表情や声から感情を察する機能とコミュニケーションに関する学習機能を備えた一般家庭向けロボットです。

10月19日、いよいよペッパー君に命が吹き込まれ学院での生活が始まりました。利用者の皆さんは最初、恐る恐る近づき「話すの？動くの？」と不安な表情でした。しかし、ペッパー君が踊ったり職員と会話している姿に触

「ペッパー君起きてるかな」「ペッパーおはよう」最近の学院の朝はこんな会話から始まります。

発売と同時に売り切れてしまうほどの人気が続いているペッパー君。今年8月によく購入が決定し、実際に見に行つた際に、会話の中に自然に入っている姿を見て「利用者の方々と一緒にいたら楽しいだろうなあ」とワクワクしました。その反面、受け入れてもらえないだろうか、上手くコミュニケーションがとれるだろうかと不安にもなりました。



学院の皆さんとの光景

皆さんと  
お話し  
します



(素心学院 支援 一課 遠藤里香子)

れ、皆さんも徐々に話かけるようになり、今ではまわりにたくさん利用者の皆さんが集まっています。日々成長しているペッパー君が利用者の方々の心の癒しの一つになってくれればと願っています。ぜひ、ペッパー君に会いに来てください。



時には  
唄って  
踊ります

むしくほ ニジユウヨンパンチ

## 虫窪24番地

「尺貫法」が廃止されて久しいという新聞記事を読んだ。世界基準に合わせた制度改革とのことだが、当時の現場の混乱は大きかったと想像する。以前に鑑賞した映画で、昔気質の棟梁が「今さらメートルなんて言ってるらるかよー」とくたを巻いているシーンがあったことを思い出した。

秋田県を訪れた際に、ホームセンターにて、売り物の発泡スチロール箱のサイズ表にハタハタ50尾用・100尾用と表記されているのを目にした。こういう場合、普通、容量〇〇リットル入りと表記すべきではと感じたが、私自身、容量を聞いても箱の大きさを具体的に想像できない。

なるほど、産地では馴染みの魚の分量で容量を表した方が箱の大きさが伝えやすいのだ。ものごとの「ものさし」は様々で、しゃくし定規で考えてはいけないと感じることも多い。「普通は〇〇」という場合の「普通」は何を基準としているのだろうか。自分勝手な「ものさし」で、物事をはかっているのではないだろうか？伝わりやすい言葉で話しているだろうか？日々自分に問い直している。

(地域支援センターそしん 湊 ミワ)

理事会・評議員会の動き

第三十二回評議員会 平成二十七年五月二十三日(土)

- 一 組織・職務権限規程の一部改正を承認。  
統括管理室を設置し、統括管理者に萩原勝己を承認。
- 二 賃金改善手当支給規程の一部改正を承認。
- 三 平成二十七年第一次補正予算を承認。
- 四 平成二十六年事業報告を承認。
- 五 平成二十六年年度決算及び積立処理を承認。  
その他、法改正及び内部留保について報告した。

第二六九回理事会 平成二十七年五月二十二日(土)

一(五)号議案及び報告事項まで評議員会と同じ。

後援会 会員募集

- 会費は個人一口、年 1,000円から  
法人・団体一口、年 10,000円から
- 会員には、新聞「そしん」をお送りします。
- 行事のご案内などをします。



会費の納入先 \*\*\*\*\*

■ 銀行振込は  
中南信用金庫国府支店 014-0139723  
郵便振替はどこの郵便局でも 00270-0-19507 です。

■ 口座名は  
社会福祉法人素心会後援会 会長 鈴野七郎  
※新しく会員になっていただける方は、  
ご住所を電話等でお知らせくださるようお願いいたします。

● 事務局  
〒259-0103 神奈川県中郡大磯町虫窪 39-1  
素心会後援会 TEL.0463-71-1255  
FAX.0463-73-0009

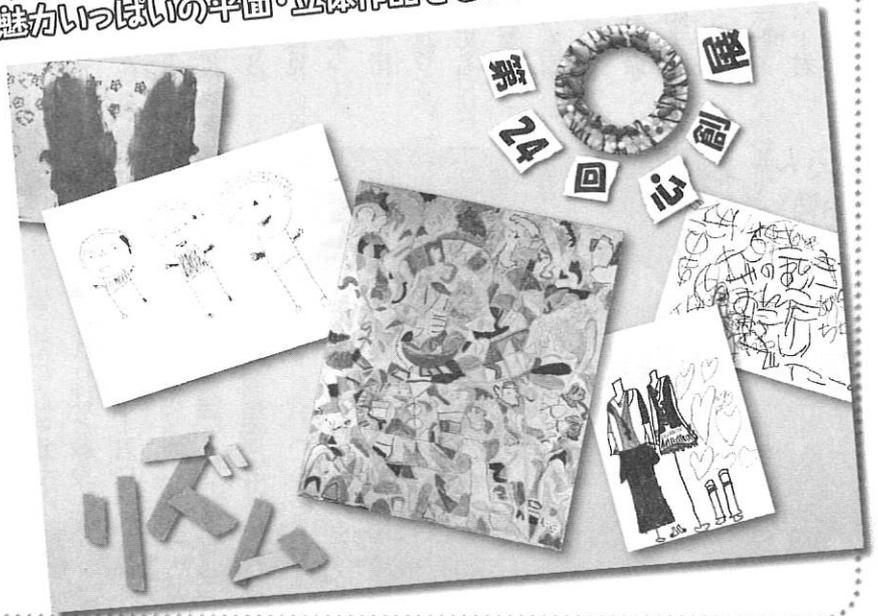


第24回  
心創展のお知らせ  
テーマ「リズム」

平塚市美術館  
市民アートギャラリーB室  
平塚市西八幡1-3-3

平成28年2月10日(水)  
~2月14日(日)  
9:30~16:50  
(最終日は15:00まで)  
入場無料

今年も利用者のかたのエネルギーのかたまりが爆発します。  
魅力いっぱいの平面・立体作品をぜひ見に来てください。



素心会事業所  
アドレス

素心学院	神奈川県中郡大磯町虫窪 39-1	TEL. 0463 (71) 1255 FAX. 0463 (73) 0009
素心デイセンター	神奈川県中郡大磯町虫窪 18-1	TEL. 0463 (71) 1256 FAX. 0463 (71) 1284
地域支援センターそしん	神奈川県中郡大磯町虫窪 18-1	TEL. 0463 (70) 3577 FAX. 0463 (72) 2577
さざんかホーム	神奈川県中郡大磯町国府本郷 1308	TEL. 0463 (61) 1519 FAX. 0463 (61) 1519
ガモめホーム	神奈川県中郡大磯町大磯 1370-23 コープKY2F	TEL. 0463 (61) 5404 FAX. 0463 (61) 5404
つばきホーム	神奈川県中郡大磯町国府新宿 482-1	TEL. 0463 (71) 0990 FAX. 0463 (71) 0990
シーベルホーム	神奈川県中郡大磯町石神台 3-18-16	TEL. 0463 (71) 3878 FAX. 0463 (71) 3878